

中部農業改良普及 センターだより

e-mail : CE0017@pref.iwate.jp

ホームページはこちら→



令和8年7月発行 第22号

◇中部農業改良普及センター

TEL : 0197-68-4464

◇西和賀普及サブセンター

TEL : 0197-82-3125

◇遠野普及サブセンター

TEL : 0198-62-9937



農作物の栽培管理(7～8月)ワンポイントアドバイス

直近の3か月予報(6月23日気象庁発表)によると、9月までの**気温は平年並または高い予報**です。本年も**高温障害の発生による農作物の品質低下や収量減が懸念**されます。今後の気象情報に注意し、天候や生育状態に合わせたこまめな管理・適期防除に努めましょう。

◆ 水稻

- ・中干し終了以降は**間断かんがい**とし、根を健全に保ちましょう。出穂後、**登熟前半が高温**(日中30℃、夜間23℃以上)の場合は、**夜間入水**が品質確保に有効です(水尻を止めて夕方から朝まで入水→その後、自然減水)。いもち、カメムシ等、適時適切な病虫害防除を心掛けましょう。

◆ 大豆

- ・雑草が小さいうちに、雑草管理(除草剤散布、中耕培土等)を実施しましょう。
- ・カメムシ類防除は、**着莢期～子実肥大期に必ず2回以上実施**しましょう。

◆ 野菜(果菜類)

- ・【施設】遮熱・遮光資材の塗布や被覆、外気導入や換気等の**高温対策**を行うとともに、**天候に応じたかん水管理**を行いましょう。また、病虫害が増加する時期なので、防除を徹底しましょう。
- ・【露地】敷きわら等により**地温上昇の抑制と土壤水分の保持**に努めましょう。また、降雨に備え、**排水対策**を行うとともに、乾燥が続く場合は**かん水**を行いましょう。

◆ 果樹

- ・【りんご】**高温時は過度な葉摘みは避け**、新梢や被覆資材を利用しながら、**果実の表面温度が急激に上昇しないよう努め**ましょう。
- ・【ぶどう】収穫期に**高温が続く場合は**、着色に期待し過ぎず、また**過熟にならないよう食味・果肉の硬度等を確認して適期収穫に努め**ましょう。

◆ 花き

- ・近年は、豪雨や長雨、干ばつと、降水量も極端に振れる傾向が目立ちます。いずれの天候にも対応できるよう、**前もって排水対策やかん水手段の準備をすすめ**ましょう。
- ・**薬剤散布は**、薬害リスクと同時に作業者の身体的負担を軽減するため、**早朝の涼しい時間帯に実施**するよう心掛けましょう。「お花も人も健康が一番!」です。

◆ 鳥獣害対策(電気柵の管理)

- ・電気柵は、**獣の鼻先が柵に触れたときに電気刺激により痛みを学習し**、“近づいてはいけない”と思わせることで効果を発揮します。確実に効果を得るため、以下のポイントを確認してください。

① ワイヤーの高さは獣種に合わせて設定する。

ツキノワグマ・イノシシ…20, 40, 70cmの3段

ニホンジカ…40, 70, 100, 130cmの4段



←こちらをご覧ください

(R7.5.29 農業普及技術課発行)

② 24時間通電する。通電していない電気柵に触れることで、安全だと学習してしまうため。

③ 下草を除草し、電圧5,000V以上を確保。下草がワイヤーに触れると電圧が低下し効果減。



普及活動の紹介（普及現地情報から抜粋）

《遠野》労働力募集アプリって実際のところどうなの？ ～新規就農者等若手生産者経営力向上研修を開催～

遠野地域では繁忙期の人手不足が課題となっており、普及センターはその対策として労働力募集アプリの活用をテーマに研修を実施しました。5月20日に開催された実践編には若手生産者ら14名が参加し、「タイミー」を活用して規模拡大を進める事例が紹介されました。

アプリを活用している生産者からは、「利用者は農業未経験者が多いため丁寧な作業説明が重要だが、必要なタイミングで人員確保ができる利点がある」と共有されました。参加者からは導入に前向きな声が多く、有意義な研修となりました。

普及センターでは、今後もデジタルツールの提案などニーズに即した研修を企画し、若手生産者の経営力向上を全力でバックアップしていきます。

アプリを活用している
生産者からの説明の様子



（株）タイミー
農業におけるスキマバイトの
利用実態レポートはこちら！



「アグリワーク」
JA いわて花巻による無料職業
紹介所はこちら！



農業農村指導士さんの紹介（R7 年度認定）

昆野 勇夫さん（北上市）

◇経営概要

りんご 280a、西洋なし・日本なし 20a、水稻 130a

◇経営の特徴

土着天敵の活動に適した条件を維持することで農薬の使用を最小限に抑えるなど、環境に配慮した果樹生産に取り組んでいます。また、手作業での丁寧な摘果などにより、品質の向上及び安全・安心なりんご生産を実現しています。



消費者により満足
してもらえる果樹
づくりを実践すると
ともに、次世代にも
栽培技術を伝え、
地域貢献にも引き
続き取り組んでい
きたいです！



「園芸やるべセミナー」のご案内



開催日時：令和8年8月28日（金） 9:30～11:30

内 容：就農希望作物のほ場見学、個別相談会（希望者を対象）

※詳細は別紙チラシをご覧ください。

🌱 周りに興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひお誘いください！ 🌱

普及現地情報は「いわてアグリベンチャーネット」にも掲載しています。

過去の記事も閲覧できますので、是非ご確認ください。➡

